

2020年度 第7回企画環境委員会 議事録

日 時 2021年2月16日(火) 15:30～17:30

会 場 WEB会議(ZOOM)

出席者 19名(欠席:福村委員)

(敬称略)

| ブロック | | 委員名 | ブロック | | 委員名 | ブロック | | 委員名 |
|------|--|-------|------|---|-------|------|---|--------|
| 東京 | | 松本 一成 | 南関東 | ○ | 清田 顕彦 | 東中国 | | 清水 浩史郎 |
| 北海道 | | 広川 太一 | 東京 | | 西條 剛 | 西中国 | | 宮下 香津恵 |
| 北東北 | | 後藤 芳晴 | 東海 | | 生川 恭道 | 四国 | ○ | 開出 昭 |
| 南東北 | | 福村 浩幸 | 北陸 | | 林 忠宣 | 九州北 | | 辻森 陽介 |
| 上信越 | | 神林 英樹 | 近畿 | | 安井 義幸 | 九州南 | | 安座間 安由 |
| 東関東 | | 小板橋 聡 | 阪神 | | 山口 善克 | | | |

<担当副会長> 山口 史朗 <事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○副委員長

チャンネル競争カグループ : 開出 昭、後藤 芳晴、安井 義幸、林 忠宣、山口 善克、福村 浩幸
生川 恭道、辻森 陽介

共通化・標準化グループ : 清田 顕彦、神林 英樹、西條 剛、宮下 香津恵、広川 太一
安座間 安由、小板橋 聡、清水 浩史郎

<委員会での決定事項>

- ・今年度集約した共通化・標準化の損保協会への提案スケジュール確認(事務局)。
- ・提携事業者一覧・好事例の取り纏め・展開。
- ・松本委員長からのアンケートについては、企画環境委員から各ブロックの委員に転送する。

議 事

1. 挨拶

1. 松本委員長挨拶

- ・福島県沖を震源とする地震で被災された方にお見舞い申し上げます。
- ・緊急事態宣言も延長となり、まさか1年間皆さんと会うことができないとは思っていませんでしたが、来年もこのような状態が続くそうであり、WEBとはいえども活発な意見を出して頂きたいです。
- ・どうしても、WEB会議なので報告が中心になってしまいますが、必要に応じて皆さんに意見をいただきますのでよろしくお願いします。
- ・今回は今年度としては最後の委員会となりますが、次年度の取組みを含めてご意見を伺います。
- ・2月5日の理事会では、確定していませんが次年度の企画環境委員会への諮問事項が整理され、大項目としては変更ありませんでした。
- ・一つ目は、共通化・標準化について、特にオンライン募集・リモートワークは継続的に議論していくべきとのことであり、今月の25日に開催される「活力研」で議論いたします。追加で個人分野の商品で共通化できるところを検討していくこととなります。
- ・二つ目が、募集実態のモニタリングと具体的対応策の実施です。引き続きの項目ではありますが、今までは、特定修理業者や保険金請求業者への対応については企画環境委員会のなかでは行ってきませんでした。次年度は損保協会と連携して行っていく必要があります。
- ・三つ目は、チャンネル間競争力強化策の検討と提示となります。この取組については、今年度とは違

った動きをして行こうと思っています。これまで、代協内にこれだけたくさんのコンテンツが揃っているとは思っていなかったこともあり、どちらかと言うと漠然とした形でモデルケースの作成や、提携事業に関する情報収集をしてきましたが、来年度はもう少し具体的にどうやって代理店の価値を高めたいのかという取り組みをしていきたいと思っています。

- ・現在、日本代協にあるコンテンツでも十分にレベルアップし、チャンネル間競争力をつけることは可能だと思っており、それをしっかり会員に浸透させる事も行っていきたいと思っています。
- ・具体的には金子会長の年頭所感にもあった、リスクマネジメント講座をスタートすることであり、TFと連携し企画環境委員からの意見を取り入れて進めていく形になると思いい、この講座の運用を推奨していこうと考えています。
- ・もう一つは、既に日本代協内でもサポートデスクで取組んでいる事業継続力強化計画認定のサポートであり、中小企業庁と連携していく予定です。中小企業庁からも代理店にアンケートを取りたいとの依頼があり、BCPの作成は保険代理店に頼るしかない、中小企業のファイナンス対策に保険代理店が絡んで欲しいんだという強い要望があるのでしっかりと連携したいと思っています。
- ・もう一つが、社労士診断認証制度を社労士と連携して代理店自体が組織としての体制を整えると共に、人事労務リスクをお客さまに伝えていくということ、より具体的にやっていきたいと思っています。
- ・今年度推進してきた提携事業者は3月末で議論した内容を各代協へ配れるように纏めます。
- ・また、モデル代理店についてはTF的な形で研究会方式で推進していく予定ですので、委員会の中で議論することはないと思います。
- ・これからの保険代理店は守りも大事ですが、様々な環境変化のスピードを考えると、早く攻めに転じる必要があると思います。そのためには、如何に実力をつけて他チャンネルと差別化するかに軸足を置き換えていかなければいけないと思っていますので、皆さんにもその事を理解して頂き、推進をお願いしたい。

2. 司会進行・議事録作成者の氏名

司会進行に清田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項・情報共有事項

1. 理事会・全国会長懇談会報告

事務局より、配布した第7回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・2020年度臨時総会の開催形式・日程・運営・付議事項等につき承認された。付議事項では2021年度事業計画案が審議されており日本代協ホームページ会員専用書庫に搭載される。
- ・各委員会への諮問事項・推進事項について、総会における事業計画案承認を前提に承認された。2020年度臨時総会の開催形式・日程・運営・付議事項等につき承認された。
- ・顧問の解嘱(荻野顧問1月末付け辞任の申し出)につき承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員長より報告があった。

2. 前回委員会振り返り

松本委員長より、配布した第6回企画環境委員会議事録の内容に沿って振り返りが行われた。

. 審議事項

1. 不公正募集情報共有

(事務局より)

- ・4件の不公正募集(全てディーラー系)案件を共有した。
- ・開出副委員長より2件の事案の補足があり、いずれも現地で対応した旨報告があった。
- ・安座間委員より2件の事案の補足があり、いずれも現地で対応した旨報告があった。

(Direct 等でのやり取りの共有)

- ・特定修理業者関連で、損保協会から注意喚起記事を東京新聞に掲載した情報、日本代協から損保協会へ「ほけん請求の窓口」サイトの情報提供、その他業者の広告について共有した。
- ・会員懇談会Q & Aでのスモールリペア単価(1,500円以下)の基準について、損保業界では一般的に1契約1,500円程度の物品であれば「特別な利益」には当たらないとした慣例に基づいて運用されてきていることを共有した。
- ・楽天損保のポイント付与について「特別な利益の提供」になるのではとの質問があったが、Web活用による募集経費の削減効果等を会員に還元する仕組みでありノベルティではないと整理されていることを確認した(2020年1月21日企画環境委員会議事録参照)。
- ・地震保険？(実際は火災保険)の比較サイト情報を共有した。

(松本委員長より)

- ・引き続き情報収集をお願いします。全国の企画環境委員会に出したアンケート結果にも記載していますが、作成した「公平公正な競争環境の創造のために」の映像視聴が36%と少ないので少なくとも企画環境委員は独禁法とか業法についてはしっかり理解しておいていただきたいと思っているので見えていない委員には視聴を促すようにしてください。

2. 共通化・標準化の推進

(清田副委員長より)

- ・今回セキュリティ関連で2件の報告があった。今年度27件の提案があるが、ブロックで偏りがあり、皆さんの一声運動でもう少し広がると思うので引き続きよろしくをお願いします。
- ・今年度提案いただいた案件については事務局で検証後損保協会に提出するので時期については連携します。
- ・松本委員長が、全国の委員に行ったアンケートにつき、その主な意見(オンライン募集関連)を紹介します。
- ア) 高齢のお客さまは「オンライン募集」という聞きなれない言葉だけで拒否反応を示し、環境も整っていない。
- ア) オンライン募集の諸条件が多いため結果として慣れている郵送募集を選択してしまいます。
- ア) 保険会社によりオンライン媒体(ZOOM, WEbex)が色々あり面倒なので、セキュリティの問題を考慮し共通化を図って欲しい。
- ・損保協会のコンプライアンスガイドにもオンライン募集について明記されていますが、緩く書かれており損保協会に要望書を出すのは難しいと判断したので各保険会社に要望書を提出する予定です。
- ・代協会員がIT化の流れに取り残されないよう企画環境委員会でも引き続き検討していこうと思います。

(松本委員長より補足)

- ・アンケートの結果からオンライン募集の必要性92%、テレワークの必要性87%と総じてニーズはあるのだが、実際に行っているのは三分の一もありませんでした。
- ・顧客本位を突き詰めていくと、オンラインの活用は重要な要素であり、引き続き検討していきたい。
- ・また、オンライン募集については保険会社の競争領域になってしまっているため、電話募集を拡大解釈して欲しい、といった内容の要望を出す形になると思います。これが、受け入れられないという

ことになると一旦「保険契約の締結」と「オンライン相談」とに切り分けないといけないのではと考えています。

3. チャネル競争力強化策(提携事業)について

(開出副委員長)

- ・提携事業の推進については今回7社追加あるも車関連が多いです。
- ・アンケート結果から必要性を感じている会員は95%いるが、好取組や新規需要がほとんど無かった。アンケートの主な意見を紹介します。

ア)お客さまから選ばれる代理店として保険代理店は情報提供産業でなければならないと思います。お客さまからリクエストを受けた時にご満足いただける提携事業者は必要です。

ア)お客さまにさらに役立てる代理店になるためにも、代理店それぞれの個別化・差別化という意味でも、自店の強みにできるよう提携事業者を増やすことは必須である。

ア)全国の仲間と優良提携事業者の情報を交換し、全国展開の対応可能かを確認し不可能な場合はそれぞれ各県、ブロック単位で提携先を探す。

ア)これからの代理店に求められるのは、資産運用等の金融や相続等の法律、防災などのアドバイスやコンサルが出来る環境を整えることが競争力確保に必要だと思う。

(松本委員長)

- ・アンケート結果からも提携事業の必要性は感じていますが上手く活用できていないことが分かります。保険以外のソリューション提供については、リスクマネジメントという発想がない中では難しいと思うので次年度はしっかりリスクマネジメント推進をして行かないといけないと思います。
- ・一方でニーズがあることは間違いないので、収集した情報を一旦締めて大阪・長崎から頂いた好事例を含めて全国に共有したいと思います。

4. 次年度取組みについて

(リスクマネジメント講座の取組み推進)

- ・TF形式で中身のコンテンツ、進め方をある程度決めて委員メンバーの意見を取り入れて委員会で推進していく(教育委員会と連携し、アカデミーにも搭載する予定です)。

(事業継続力強化計画の認定取得の推進)

- ・次年度、三冠王の選択項目に入る事になり、目標が20%に設定される予定です。
- ・既に代協会員向けの支援マニュアルがあるので、まずは皆さん自身が取得頂き、企画環境委員がある程度支援が出来るレベルまでにもっていきたいと思います。
- ・認定取得により、信用保証枠の追加等のメリットがあるので、地域の中小企業に作成支援できるところが最終ゴールだと考えています。

(社労士診断認証制度)

- ・「手上げ」「実施」「適合」の三段階があり認証取得することにより良い人材確保、働き方改革に対応するもので、こちらも代協会員がしっかりやって中小企業に提供していけるようにしたいと思ってます。
- ・こういった活動を通して社労士との連携が進みチャネル間競争力が高まればとも思います。
- ・アンケート結果では「リスクマネジメント必要性」「事業継続力強化計画の必要性」共に、98%の会員が必要性を感じているため、より具体的に後押ししていきたいと思います。

(中小企業庁からのアンケート)

- ・中小企業庁は保険代理店に中小企業向けの保険をしっかりと提案をして欲しい、事業継続力強化

計画の推進をして欲しいといった期待から、保険代理店の現状把握をするためのアンケートを作成しており、代協会員へアンケート依頼が出状されると思います(回答を促してください)。

(主な意見・質問)

- ・やることは素晴らしいが、項目を絞った方が各ブロックの企画環境委員もやりやすいと思う。
- ・メニューをどうやって現場に落とせるかが課題であり自身の腹落ちが必要。
- ・中小企業庁からのアンケートの回答率を上げる方法を考えた方が良いと思う。
- ・取引先の介護施設でコロナ発生しており、介護保険でも3年以内にBCPの策定が決められているので事業所からも相談を受けている。実際作ってみたが手順を踏んで作成すれば意外と簡単にできたので代理店としても早く取り組んだ方が良いと思う。
- ・自社では、事業継続力強化計画の申請をしておりブロック協議会でも連携します。
- ・ブロック協議会でも委員の意見を聞いてみます。
- ・BCP策定と事業継続力強化認定制度の推進委員会をはっきりして欲しい
BCP策定はCSR委員会、事業継続力強化認定推進は企画環境委員会と考えている。
- ・社労士診断認定制度の認知度がまだまだ低いのではないかとやるのならば、上層部で打合せをしっかりとってもらった方がやりやすいと思う。
昨年できた制度であり社労士会でもこれから増やしていこうと考えているのだと思う。来月の臨時総会後にセミナーがあるので、情報連携します。
- ・事業継続力強化計画は中小企業庁から話があったのか？
取っ掛かりはJC保険部会が毎年開催している国際保険流通会議であり、その時に中小企業庁の下出経営安定対策室長にお話を頂き、個別に私が挨拶に伺ったところから話がスタートしている。中小企業庁でも銀行等にアプローチしていたが、やはり推進にあたっては損保代理店しかないとの考えから期待をされている。
- ・事業継続力強化認定取得のセミナーをしていただきたい。
BCPセミナー時に案内しており、BCPが策定できればたやすく申請できる制度になっておりサポートデスクでも個別支援を行っています。
- ・理事会でも話題になっており主要代理店は認定受けている(BCP策定よりも楽に取得できた)。
- ・実際自社で取組んでみないとお客さまには伝えられない。
- ・リスクマネジメント講座は費用が発生するのか。
基本編は全員が無料で受けることが可能で中級・上級については有料のアカデミーコンテンツに組み入れようと考えている(教育委員会と調整が必要)
- ・会員への伝え方が不安である(聞く耳を持ってくれるか)。
- ・実際に自社で作成した方が企業への説得力があることを実感した。

皆さんの意見を参考に全員が腹落ちした状態を作って推進していきたい。

・その他情報提供・閉会

1. その他

(松本委員長)

- ・アンケート発信すると文字化けしてしまうので、次年度は委員長から企画環境委員にメール発信するので、皆さんから各ブロックの委員に転送・回答促進をしていただきたい(資料に記載の未取組み

代協では1名しか委員がない県等があるので名簿追加は要請しないこととした。

- ・アンケート結果では、「代協活動の現状と課題」サマライズ版を活用しているが31%と少なく、知らないも14%もあったので、活用方法について次年度検討していきたい。

2. 情報提供

小見常務より下記情報提供があった。

(AIチャットボット)

- ・2/15「代理店合併」「損保大学課程」「代理店賠償」の質問についてチャットボットを使って回答できる仕組みをスタートしました。皆さんにもdirectで連携しますので見て下さい(各県会長・事務局には案内済)。

3. 本日の到達点の確認

事務局より本日の決定事項を確認市が行われた。

4. 山口副会長閉会挨拶

- ・皆さん大変お疲れさまでした。今年度7回の委員会、そのうち6回が現メンバーにて開催しました。今年度としての委員会は最後ですが、まだ1ヶ月半ございます。企画環境委員として今年度のミッションをしっかりと全うしていただくと同時に、各代協では三冠王を目指して、仲間づくり・日本代協アカデミーのID登録・出前事業とまだ三冠王を取れる可能性のある項目に取り組んでいるところだと思いますので、是非協力して三冠王目指していただきたいと思います。
- ・日本代協の企画環境委員長は松本委員長ですが、各ブロックにおいては皆さんが委員長です。各ブロックの企画環境委員の責任者は皆さま方一人一人です。ですから各ブロックについては自分が責任を持つという気概を持って頂きたい。
- ・例えば情報伝達の手段に関しても、会長経由の方が良い場合もありますし事務局経由が良い場合もあるでしょうが、企画環境に関することは皆さんが発信してブロック内の隅々まで行き渡らし、結果についても皆様が掌握するというような体制構築を心掛けていただきたいと思います。
- ・特にこれまで企画環境委員は数値目標が無く、結果が見えにくい点もありましたが、委員長から話のあったように次年度に関しては3/5の臨時総会で次年度の事業計画が承認されればという前提付きではありますがBCPの策定と事業継続力強化計画認定については、三冠王の一項目として自主チャレンジが出来るようになります。少なくとも企画環境の皆さまには積極的に取り組んでいただきたいですし、自主取り組みとするかどうかは各代協の判断になりますが、そういう気運が盛り上がるような方向性に企画環境委員会としては前向きに取り組んでいただきたいと思います。
- ・チャンネル間競争力という話をする時に、今まではできるだけフルラインナップで、また、バリューチェーン化してあらゆるサービスをそろえるという方向性が一つあったと思います。それはそれでいいと思いますが、本筋はリスクマネジメントとか自社でBCPを策定しそれを顧客企業に対して提案できるような方向性、いわゆる本筋に近い部分が次年度のミッションに加わったと受け止めて頂けたらと思います。
- ・「守り」ではなく「攻め」で他チャンネルとは圧倒的な実力差を我々は作っていく事によって勝ち残っていくのだという事を軸足に置いて企画環境委員会のミッションにも継続して取り組んでいただきたいと思います。
- ・一年間お疲れさまでした。次年度もよろしく願いいたします。

以上

次回開催日 2021年4月9日(金) 13:30~17:30